

## 国スポ説明事項(重要部分抜粋)

## 【資料確認】

**資料8** 国スポ（ブロック大会含む）関係について

**資料9** 国スポ参加資格関係書類

## 配布物

参加者傷害補償制度パンフレット等

ブロック大会開催競技：宿泊 ID、実施要項は大会 HP にて各自確認

「チバリヨー沖縄！」横幕

1. 国スポ関係について **資料8**

## 【各自確認】

**P1～17** 国民スポーツ大会総則

**P18～20** 日程及び会場一覧について

**P23～25** 九州ブロック大会総則

**P26～27** 九州ブロック日程及び会場一覧について

## 【留意事項確認】

**P28 会議日程確認****九ブロ申込期日確認（県の締切日に留意）**

- ・競技については（**P24** 総則 10 参加申込方法 (2) 申込期限について）
- ・申込書類一式は後日送付予定

※申込と併せて納入

九ブロ：種別負担金・参加者傷害補償制度加入負担金

**P21 本大会申込期日確認（県の締切日、宿泊申込期日に留意）**

- ・例年以上にブロック大会からの期日が短いため、本大会分のシステム入力を事前に行い保存しておくなど、申込の準備をお願いします。

※申込と併せて納入

本大会：ユニフォーム代金・参加者傷害補償制度加入負担金

ユニフォームは納品期日もあるため、必ず期限内に提出をお願いします。

※その他、参加申込システムアカウントについて、メールアドレスの変更等ございましたら早めに連絡をお願いします。

※前任者（個人）のメールアドレスが登録されている場合、アカウントとパスワードを入力しても、認証コードが届かないのでご注意ください。

**P22 本大会総合開会式の参集範囲について**

- ・対象競技の本選出場者は原則、参加となりますので事前にご確認ください。（参集範囲は変更の可能性があります。）

## 2. 国スポ参加資格関係書類について 資料9

### P1～14 「参加資格、年齢基準等の解釈・説明について」

- ・国スポ実施要項総則に記載のある参加資格及び所属都道府県、参加区分（居住地、勤務地、ふるさと、特例措置等）など、各項目における解釈が記載されておりますので、参加資格判断の際の参考にご活用ください。

### P15～17 「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準

- ・多くの選手が該当すると思われる居住地や勤務地を選択する際の認定基準について、説明が記載されておりますので、必ずご確認ください。

※居住地：当該年度の4月30日から大会終了時まで、冬季大会は4月30日から10月31日までの総日数の半数を超えて住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があること。（対象期間中に住民票を移動する場合は居住地の選択はできない）

※勤務地：要件を満たす際の前提としては原則としてフルタイム（週40時間程度勤務）の職業を意図しています。

※判断が難しい場合は、申込前に公益財団法人日本スポーツ協会へ問合せ下さい。

### P18 ふるさと選手制度について、

- ・76回大会から卒業小学校も選択可能となっておりますので、成年種別の選手については、積極的にご活用下さい。

### P19 監督への公認スポーツ指導者資格義務付けにおける取扱いについて

保留は×

- ・2024/9/30が有効期限の方は、10/1付更新登録手続きが可能な方。

※2024/3月までに更新講習受講・更新手続きを行った方のみが該当のため要注意。

※この有効期限は九プロ大会にも適用されるため、九プロ大会時点で資格が有効であっても、上記期限外の指導者は認められないため、要注意。

※冬季大会は2025/3/31が有効期限の方。2024/10/1時点でも有資格者である必要があります。

### P21～22 トップアスリートの特例措置について

- ・各自ご確認のうえ、該当する可能性がある場合は本会または各NFへお問い合わせください。

### P23～32 所属都道府県選択における事例

- ・ふるさと制度や特例措置を活用する場合の選択事例が紹介されておりますので、必要に応じ各自ご確認下さい。

### P33～38 参加資格確認書について

- ・参加申込時、参加資格確認書にてチェックを行う。チェック時に不明な点がある場合は、本会へお問い合わせください。

※都道府県予選会参加時から資格確認が必要になりますのでご注意ください。

※他県から予選会に参加していないか、複数競技に重複して申込していないか等、選手へ該当事項を確認し、確認書は可能な限り選手・監督本人が記載するようお願いいたします。

※少年種別において、参加区分を学校所在地にする場合は、「学校教育法」第1条に規定する学校であるか確認をお願いします。(通信制高校等は含まれません。)

※少年種別においては、特別な理由がない限り、居住地区分での参加申込を推奨します。(水泳競技等、競技特有の申込条件がある場合を除く。)

なお、いずれも、システム上のプログラム掲載欄へ学校名を入れることは可能。

※沖縄在住の成年種別においては、特別な理由がない限り、居住地区分での参加申込を推奨します。(勤務地区分は、確認作業に時間を要する場合があります。)

なお、その場合も、システム上のプログラム掲載欄へ勤務先の名称を入れることは可能。

※例年、提出された参加資格確認書と申込システムの内容の相違が多数見受けられます。申込システム入力の際は、参加資格確認書を手元で確認しながら行ってください。

### P39 国民スポーツ大会参加資格違反事例集 事例1. 2紹介。3. 4各自確認。

## 3. アンチ・ドーピング研修受講の義務化について 資料9

- P40**
- ・作年度より、国スポ本大会でアンチ・ドーピング事前受講が義務となりました。
  - ・受講対象者は選手(選手変更者含む)、監督、18歳未満である選手の保護者です。

※実施時期は本大会出場前1年以内と記載がありますが、「大会出場前」というのは、「参加申込システム登録前」が定義となります。

### P41~42

- ・対象となる教育活動の内容については、P41のとおりです。
  - ・各競技団体での研修会実施や、P42記載のJADA作成ウェビナーをご視聴の上、リアルチャンピオンクイズに挑戦し、種別ごとの基準クリアが必要。
- ※クイズの際は、参加者用登録コード:saga2024を入力。
- ※18歳未満の選手及び保護者：クイズレベル1の合格認定画面を保存。
- ※監督及び成年種別、サポートスタッフ：クイズレベル2の合格認定画面を保存。

### P43~44

- ・研修会への参加またはクイズに合格後、選手についてはP43の「国民スポーツ大会選手カード」の右下にある「アンチ・ドーピング教育履歴」欄へ受講実績を記入し携帯してください。
- ※18歳未満の選手については、保護者の受講実績も記入必須です。
- ※監督やサポートスタッフ(ドクター、トレーナー)についてはP44「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング教育履歴確認カード」を記入のうえ、携帯してください。

詳しくは、公益財団法人日本スポーツ協会HPの「国スポ アンチ・ドーピング教育」をご確認ください。



<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid1395.html>